



国際交流ひろば

10

月号

Kaoshima International Association News

VOL. 249/ October 2021

この講座では、ベトナムの基本情報の紹介や
県内在住ベトナム人の方との交流・意見交換を予定しています。

日時：**11月13日**（土）14:00～16:00

場所：リナシティかのや 2階 情報研修室
（所在地：鹿屋市大手町 1-1）

定員：30名程度 参加費無料
※ベトナムに興味のある方でしたら、
どなたでもご参加いただけます。

問合せ先：鹿屋市 地域活力推進課 国際交流グループ

TEL：0994-31-1147 Mail：chiiki@city.kanoya.lg.jp

ベトナム 理解講座 in 鹿屋市

にほんごサロン おしゃべり ひろば



10/10（日）13:30-14:30

「食べ物と健康」

～あなたの国のからだに良い食べ物は？～



11/11（木）10:30-11:30

「交通安全について」

～このサインどんな意味が知ってる？～

※参加には、申込みが必要です。詳しい内容は、facebook から！



「おしゃべりひろば」では、毎回様々なゲストを呼んで、日本語でのフリートークを行います。
鹿児島に住んでいる外国人の皆さんのお越しをお待ちしています。

【「在住外国人のための防災対応支援事業 in さつま町」日程変更のお知らせ】

国際交流ひろば 9月号でご案内した標記事業の日程について、新型コロナウイルス感染症の影響により、
下記のとおり、日程の変更をいたします。何卒ご理解のほどよろしくお願い申し上げます。

①基礎講座

10月3日（日）
14:00～16:30
（※日本人向け講座）

②やさしい日本語

10月17日（日）
13:30～16:30
（※日本人向け講座）

③基礎講座

10月31日（日）
13:30～16:00
（※外国人向け講座）

④実践チャレンジ

11月7日（日）
13:30～16:00
（※日本人及び外国人向け講座）

詳細は さつま町役場企画政策課（0996-53-1111）までお問合せください。

「Kagoshima で暮らして」

鹿児島県の在住外国人の数は、年々増加傾向にあります。国際交流ひろばでは、鹿児島で頑張る在住外国人の鹿児島での暮らし等についてご紹介します。

今回は、インドネシアのジャカルタ出身で、大崎町在住11年目のプルナマワティさん（愛称 プルさん）にお話をうかがいました。



NPO 法人 大崎ものづくりネットワーク振興会
国際交流推進員
プルナマワティさん（愛称プルさん）

フルネームで名前を教えてください。

— プルナマワティがフルネームです。

インドネシアには、名字がない民族も多くいて、私にも名字がありません。日本では、名字は必ずあるものだと思われているので、手続きなどは大変です。例えば、私のパスポートと日本での保険証の名前が違ったりしています。保険証では、名前を2つに分けて、姓と名にしてるんです。

インドネシアはイスラム教徒が世界で最も多い国として知られていますが、プルさんには信じている宗教はありますか？

— イスラム教です。一日に5回お祈りをし、コーランを読み、豚肉やアルコールは口にしません。ラマダンの期間には断食もします。ですが、ムスリムの女性が身につけるヒジャブは着けません。インドネシアのイスラム教では、個人の意思が尊重されます。私の場合は、家族とも話し合っ、ヒジャブは着けないということにしました。

日本に興味をもったきっかけはなんですか？

— インドネシアでは、80年代に日本文化が流行り、なかでもマンガやサムライはとても人気がありました。私は、日本の歴史や文化が大好きで、それがきっかけで日本語を勉強し始めました。

大学卒業後に来日し、2年間、静岡の日本人学校で勉強しました。当時、ホストファミリーのお父さんが、よくお寿司に連れて行ってくれて、それからお寿司が大好きになりました。特に大トロが美味しいですね。

その後、鹿児島大学大学院へ進学し、2011年に博士課程を修了しました。

鹿児島に初めて来た時のことを覚えていますか？

— 初めて鹿児島に来た時には、とても安心したのを覚えています。なぜなら、地域の方が「おはよう、こんにちは」とあいさつをしてくれて、温かい人が多いと感じたからです。それと、食べ物も美味しいし、物価も安いので、留学生には、とても住みやすい町だと思いました。ただ、桜島が、なぜ街の中心にあるのかとても不思議で「噴火したらやばいっ!」と思って過ごしていました（笑）。

日本に来てから、驚いたことや困ったことはありましたか？

— 人も物も時間に正確なことに驚きました。バスや新幹線は時間通りに来るし、信号を渡るときに、走っている人もいますよね。インドネシア人はゆっくりなんです。そういった文化や習慣の違いに、最初はとても不安でした。

鹿児島に来てからは、アルバイトを探すのにとても苦労しました。求人票を見て、電話をしても、インドネシア人留学生と説明したとたん、に断られてしまうことがよくありました。「私は、日本語学校に

も通っていたので、日本語ができます。」と一生懸命説明をしましたが、大変でしたね。当時は、まだ外国人が働くというのは珍しかったんだと思います。

大崎町に来ることになったのはどうしてですか？

— 鹿児島大学を卒業する直前に、たまたま大崎町の東靖弘町長と出会い、「大崎町は今後、インドネシアと事業をしたいと考えている。一緒に仕事をしないか。」と誘われたからです。

大崎町に最初に来たときには、畑、畑、馬、牛、鶏がたくさん…人間が少ないなあ…というのが、率直な感想でした（笑）。スーパーも1つしかなく、私は車の運転ができないので、どうやって生活したらいいかととても不安でした。

現在の仕事について教えてください。

— NPO 法人 大崎ものづくりネットワーク振興会で国際交流推進員として働いています。

具体的には、県内の留学生と町民をつなぐホームステイ交流や町の子供達と海外の子供達とのオンライン交流を実施したり、町民に英語を教えています。それ以外には、Facebookを利用して、大崎町の魅力を英語で発信しています。

そして、一番大きな仕事は、インドネシアとの事業です。大崎町は、長年ゴミのリサイクル率日本一となってきましたが、インドネシアからの要請を受けて、そのリサイクルシステムを現地で普及・支援する取組みをしています。

私は、2012年の事業開始当初から関わっており、現地に同行して通訳等もしますし、インドネシアからの研修生への指導も行います。実は、私、ゴミの分別リサイクルの指導員でもあるんです。指導員になるために、リサイクルセンターでの研修や有機工場での堆肥づくり等も経験しました。役場では、大崎システムの計画や管理方法等についての実習もしました。とても大変でしたが、自分で経験したことは、指導にも生かすことが出来るので、役に立っています。



インドネシアにおけるリサイクルシステム普及・支援事業の様子

働いていて、苦勞することや、やりがいを感じる時はどんな時ですか？

— 大崎町に来た当初は、町のみなさんは、「外国人=技能実習生」というイメージがあったようでしたが、わたしの場合は違っていました。そのため、「なぜ、ここにいるの？ 東京や福岡に行けばいいじゃないか」と言われることも多く、自分の存在意義を理解してもらうのが難しかったです。でも、私は、この大崎町でチャレンジしたかったです。自分の役割について、何度も説明をしましたし、インドネシアとの事業を進めていくことで、町民の方々の理解が深まっていったように感じます。

やりがいを感じる時は、町民のみなさんとふれあう時です。ゴミを出す時に、町民の方と色々な話をしたり、英語を教えている時に、受講生が笑い、イキイキしているのが、嬉しいです。とても温かい気持ちになります。

また、町の子も達と海外の子も達との交流では、子ども達がとても盛り上がりたくて嬉しかったです。このような交流を通して、子ども達には「外国に行きたい、もっと勉強したい」という思いを持ってほしいですね。

大崎町は、県内でも外国人増加率が高い町ですが、技能実習生も多いですね。彼らとの関わりを教えてください。

— 実習生からは、日本語の不安を聞いたりすることがあります。私も外国人なので、共感できる点が多いです。

それから、日本語能力試験のための勉強の仕方について教えます。彼らは、日本に数年しかいません。「帰国した時に日本での経験を生かせるように日本語を勉強した方がよい」「日本語能力試験に合格したら、絶対に役に立つ」と伝え、試験勉強のアドバイスをしています。



ベトナム人技能実習生に
ゴミの分別を指導する様子

大崎町の好きな場所はありますか？

— くにの松原や横瀬古墳などの景色がとてもきれいです。

毎朝、散歩をするのが日課なんですけど、古墳の周辺は涼しくて今の時期はとても気持ちが良いです。

将来の夢を教えてください。

— 大崎リサイクルシステムをインドネシア全土に普及したいと思っています。大崎システムは、ただ分別してごみを捨てる方法というだけでなく、人材育成や経済的な豊かさにもつながり、また、教育活動による人々の意識改革をも引き起こすことができるシステムです。みなさん、ここに来る時に「ゴミの捨て方が難しいんじゃないか」とか「めんどうさそう」と思われるんですけど、私はそんな風に思っていません。一人ひとりの行動で地域を変えられるんです。そんなシステムを母国で広げたいですね。だから…環境大臣にでもなろうかな(笑)。

もう一つの夢は、大崎町に若い人の U ターンや移住者が増えて、一緒に働くことができるようになることです。大崎町の人口は、今12,000人くらい。何かしなければ0人になってしまうかもしれません。そうならないために、今はPR活動を頑張っています。

最後に、外国の方が活躍できる鹿児島になるために、県内のみなさんにできることがあれば教えてください。

— 鹿児島の人には、もっと外国人とふれあって、色々なことを教えてあげてほしいです。例えば、チャシの見方とか。そういった日常の中にある文化や習慣を教えてもらいたいです。日本人にとって、当たり前なことでも外国人にとってはそうでないことが多いですからね。

プルさんによる大崎町の魅力を PR する Facebook

「Fascinating Osaki Town」もぜひチェックしてみてください。



「かごしまから見える世界」 vol.3

かつてから外国との交流が盛んだった鹿児島。鹿児島に居ながらにして世界を感じられる場所をご紹介します。今回は、鹿屋市にある「鹿屋市 民族館」をご紹介します。

鹿屋市 民族館は、上高隈町の大隅湖のほとりにある体験型資料館。平成9年に鹿屋市の施設として設立されました。館内には、インドやネパール、アフリカなど世界各国の民族楽器や工芸品、伝承遊具、民族衣装が多数展示してあります。

ここでは、展示品の多くが手にとって体験でき、楽器については、職員に演奏の手ほどきまでしてもらえるので、即興でセッションが楽しめることも。「打楽器は、もともとコミュニケーションの道具。ここでも会話をするように楽器に親しんでほしい。」と館長の倉ヶ崎伸吾さん。「ここでは、国ごとに楽器を分けて展示をしない。



世界各国の弦楽器



ボードゲームや伝統遊具

楽器も人間もルーツをたどればみんな同じ。国境もない。時代も国も越えて楽しんでもらいたい。」と、館内の展示方法にも館長のこだわりが見えます。館内の楽器は、すべて館長がメンテナンスをし、ご自身で楽器を制作することもあるそうです。百科事典のように知識豊富な館長の説明からは、楽器への熱い思いが伝わってきて、聞いているこちらにも楽しくなります。

館内をひととおり楽しんだ後は、喫茶コーナーで、大隅湖を望みながらコーヒーはいかががでしょうか。お土産に異国情緒あふれる雑貨などの購入も可能です。みなさんもぜひ、民族館で異国の雰囲気に触れてみてください。

住所:鹿児島県鹿屋市上高隈町 3779-1 TEL:0994-45-2872

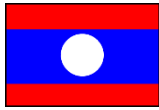
その他、詳細については、直接お問合せください。



JICA デスク鹿児島からのお知らせ！

帰ってきた！かごんま出身隊員！

鹿児島県から出発した JICA 海外協力隊員は現在累計でおよそ 900 名。今回は、2019 年度1次隊として、ラオスに派遣されていた森重千里さんの活動をご紹介します！【職種：コミュニティ開発】



【ラオス】

青は国の豊かさを、赤は血を、白はメコン川に昇る月を表している。

人口：710 万人 面積：24 万km² 首都：ビエンチャン 宗教：仏教
言語：ラオ語 例：こんにちは＝サバイディー



東南アジアの自然豊かな国ラオス。多くの少数民族が暮らし、人々は穏やかで、時間がゆっくり流れているようなのんびりとした国です。私の任地は世界遺産の街ルアンパバーン。特産品の開発や販売の支援をしていました。ラオスは手織り布が有名で、村では女性たちが軒下で織物をしています。観光客向けに織物を販売していましたがコロナウイルスの影響で多くの人が止めてしまい、文化はこうしてなくなっていくのかと厳しい現状を目の当たりにしました。生きるために、ラオスの織物文化を絶やさないために、現地の人々と共に奮闘する日々でした。日本への一時帰国やラオス国内のロックダウンなど思うように活動出来ないことも多かった2年間でしたが、だからこそ支援の持続性の大切さに気付くことが出来ました。協力隊としての活動は終えましたが、織物を守る戦いはまだ始まったばかりです。どんな時も前向きなラオスの人々と共にこれからも歩いていきたいと思っています。

JICA デスク鹿児島 担当: 仮屋

TEL: 099-221-6624 (公財)鹿児島県国際交流協会内



県内各市町村および国際交流協会主催・共催の国際交流に関する イベント情報等がございましたらお寄せください。

※ただし、掲載条件等がございますので、詳細についてはお問合せください。

がいこくじんそうごうそうだんまどぐち

外国人総合相談窓口

かごしま す がいこくじん かた そうだん
鹿児島にお住まいの外国人の方のための相談
まどぐち せいかつ ざいりゅうしかく ろうどう いりょう ふくし
窓口です。生活、在留資格、労働、医療、福祉など
で困ったことがありましたら、お気軽にご相談
ください。

たいおうげんご : にほんご えいご ちゅうごくご かんこくご
対応言語 : 日本語/英語/中国語/韓国語/ベトナム
語/タガログ語/インドネシア語/ネパール語/クメール
語/タイ語/ミャンマー語/ポルトガル語/スペイン
語/マレー語/フランス語/ロシア語/ドイツ語/イタ
リア語/モンゴル語/シンハラ語/ヒンディー語

かごしまけんこくさいこうりゅうきょうかい
鹿児島県国際交流協会内

TEL : 070-7662-4541

E-mail : kiasoudan@gmail.com



Facebook



本誌・掲載内容に関する問合せ・申込み先

公益財団法人鹿児島県国際交流協会
(火曜～日曜 9:00～17:00)

〒892-0816 鹿児島市山下町14-50

かごしま県民交流センター1階

Tel: 099-221-6620 Fax: 099-221-6643

URL: <https://www.kiaweb.or.jp/>

Email: kia@kiaweb.or.jp

Facebook: <https://www.facebook.com/Kagoshima.Intl.Assoc>

「国際交流ひろば」は、ホームページにも毎月掲載しています。ご自由にダウンロードしてください。